平成 23 年 4 月 26 日

各　　位

会　社　名　　ＣＨＩグループ株式会社
代 表 者 名　　代表取締役社長　　小城　武彦
（コード番号　３１５９　東証第１部）
問 合 せ 先　　執行役員総務部長　高橋　健一郎
（TEL 03-5225-8787）

財務報告に係る内部統制の重要な欠陥に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 1 月期の内部統制報告書に重要な欠陥がある旨を記載いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 重要な欠陥の内容

当社の連結子会社である丸善㈱において、平成 22 年 12 月 20 日にサービス向上及び業務効率化を図ることを目的とし、学術情報ソリューション事業部における書籍販売・物流システムを新システムへ切り替えしたところ、新システムへのデータ移行の過程で不具合が生じ、販売・仕入サイクルの業務プロセスにおいて複数の障害が起きる事態となりました。

当社は、丸善㈱の IT 全般統制における新システムへの移行に係る統制を評価したところ、一部の統制が十分ではなく不備があったことを確認しております。

上記に記載した財務報告に係る内部統制の不備は、財務報告に重要な影響を与える可能性が高く、重要な欠陥に該当すると判断しました。したがって、当事業年度末日時点において、当社の財務報告に係る内部統制は有効でないと判断しました。

2. 事業年度末日までに是正できなかった理由

新システムの本稼動日から当事業年度末日までの期間が短く、当該障害の解消を完了することができなかったためです。また当該システムの不具合により、新システムの稼動時に機能する予定であった業務プロセス統制の一部が十分に機能しなかったためです。

3. 重要な欠陥の是正内容

当社及び丸善㈱は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を強く認識しており、丸善㈱では新システムによる業務処理の早期正常化に向けた対応を促進させるとともに、重要な欠陥に対する是正処置として次の改善対策を実行します。

(1) 今回のシステム不具合の発生原因、及びシステム障害の解消と業務処理の正常化プロセスの妥当性について、外部の専門家を交えた内部調査を 2 月から開始しており、その調査結果を有効活用して再発防止に向けた品質管理体制を強化します。

(2) IT 統制の整備状況を再検証し、確実な運用ができる仕組みを再構築して周知を図り、運用の徹底を図ります。

(3) 丸善㈱における IT 全般統制の運用状況に対する内部監査を強化します。

4. 連結財務諸表等に与える影響

当該障害の影響を受けた取引データについては、丸善㈱において手作業による照合等による検証の実施と、当社経理・財務部における決算数値の精査がなされており、丸善㈱の財務諸表の適正性は確保されていると判断しております。したがって、当社が既に発表しております平成 23 年 1 月期の連結財務諸表等に影響はありません。

5. 財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以上